

大屋敷堤・後堤 ハザードマップ

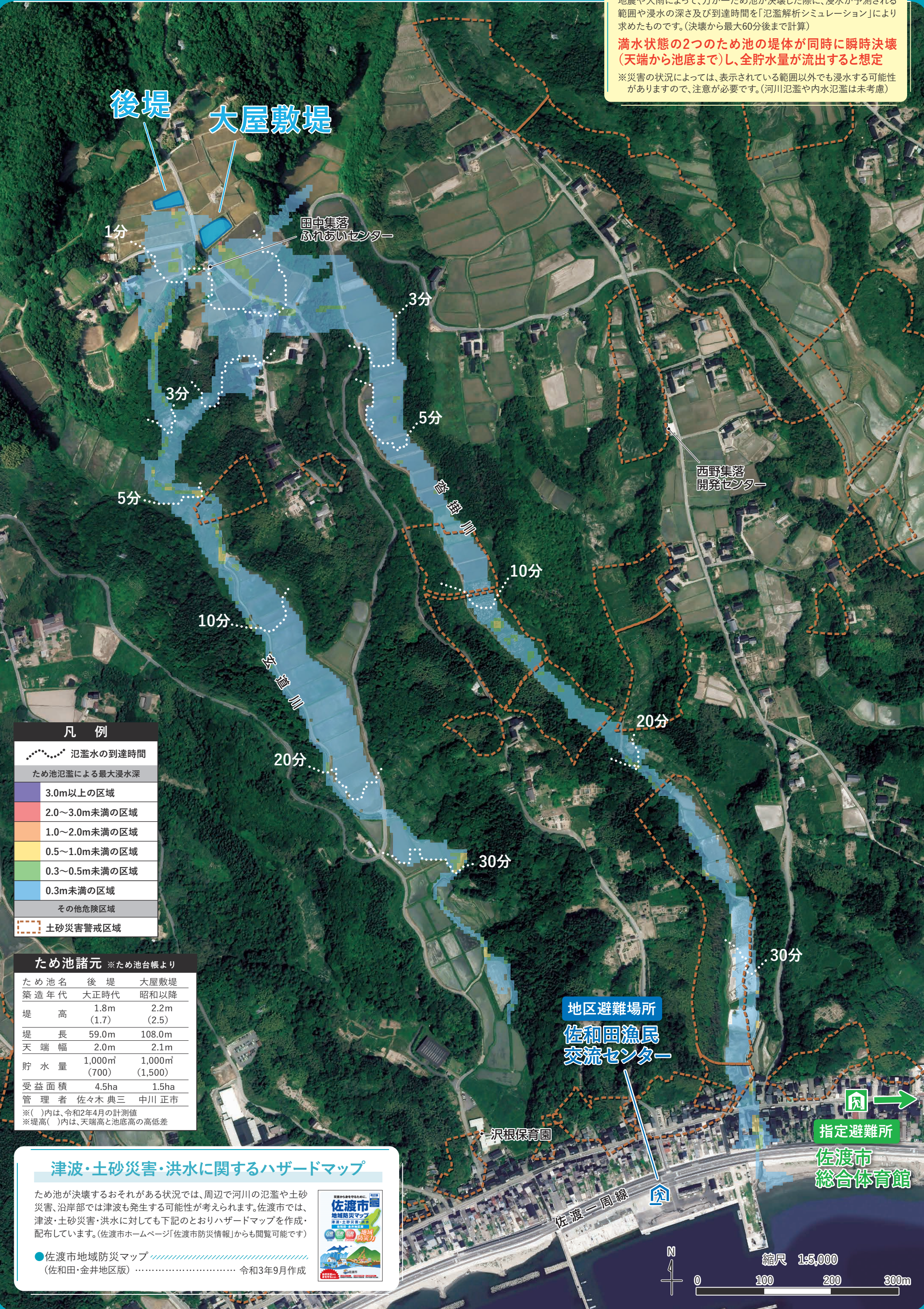
佐和田地区 沢根五十里

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。(決壊から最大60分後まで計算)

満水状態の2つのため池の堤体が同時に瞬時決壊(天端から池底まで)し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。(河川氾濫や内水氾濫は未考慮)



凡 例	
	氾濫水の到達時間
	ため池氾濫による最大浸水深
	3.0m以上の区域
	2.0～3.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
	その他危険区域
	土砂災害警戒区域

ため池諸元 ※ため池台帳より		
ため池名	後 堤	大屋敷堤
築造年代	大正時代	昭和以降
堤 高	1.8m (1.7)	2.2m (2.5)
堤 長	59.0m	108.0m
天 端 幅	2.0m	2.1m
貯 水 量	1,000㎡ (700)	1,000㎡ (1,500)
受益面積	4.5ha	1.5ha
管 理 者	佐々木 典三	中川 正市

※()内は、令和2年4月の計測値
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差

津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。(佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です)

●佐渡市地域防災マップ
(佐和田・金井地区版) 令和3年9月作成